

にじのへやだより

令和8年9月発行 (vol.3)

病児保育室にじのへや

蕨市病児・病後児保育事業

まだまだ暑い日が続いていますが、朝夕には少しずつ秋の気配を感じられるようになってきました。夏の疲れが出やすい時期ですので、しっかり休息をとりながら、無理なく過ごしたいですね。

これからは、夏に引き続き「手足口病」「ヘルパンギーナ」などの感染症に加え、「インフルエンザ」「感染性胃腸炎」などにも気をつけたい季節です。発熱や咳、鼻水、嘔吐・下痢など、いつもと違う様子がみられたときは、無理をせずゆっくり休むことも大切です。手洗いや水分補給、十分な睡眠を心がけながら、季節の変わり目を元気に乗り越えて行きましょう。

利用児童の疾患

1. 上気道炎 28名
2. 手足口病 15名
3. 気管支炎・周期性発熱 4名
4. 咽頭炎・ヘルパンギーナ 3名
5. 咽頭喉頭炎・溶連菌感染症 2名
6. クループ症候群
アデノウイルス感染症 } 1名
ヒトメタニューモウイルス
中耳炎

〈年齢別利用内訳〉計54(名)/新規登録者数9(名)

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	学童
1	29	4	8	8	4	0	0

〈年齢別利用内訳〉計11(名)/新規登録者数1(名)

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	学童
0	4	0	5	1	1	0	0

〈7・8月の様子〉

上気道炎、手足口病のお子さまが多く利用されました。一人ひとりの体調やペースに合わせて、安心して過ごせるよう見守りました。

〈初めてご利用される方へ〉

初めてご利用される方は、「どんなところだろう」「安心して預けられるかな」と不安に感じることもあると思います。スタッフが利用方法や当日の流れを丁寧にご案内し、お子さまの体調に合わせてお預かりいたします。ご不明なことやご心配なことがありましたらお気軽にご相談ください。

お部屋の様子

病児保育室のお部屋は
こんな雰囲気です!

Instagramにも
掲載していますので
ぜひのぞいてみてください♪



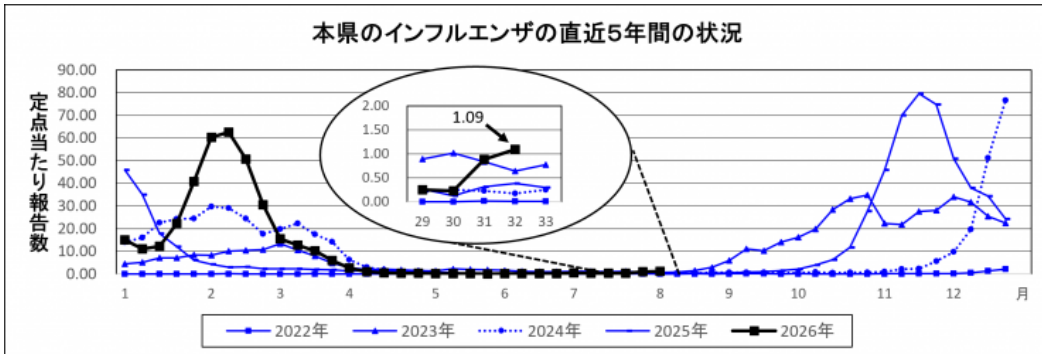
のんびり、ゆったりと♪

年齢・月齢に
合わせた遊びを♪

インフルエンザがもう流行!?

県内の1医療機関(定点)からのインフルエンザの報告数が、本年第32週(令和8年8月3日～8月9日)に1.09人となり、流行開始の目安の数値「1.00」人を超えました。報告の約半数を、子どもが占めています。

例年、インフルエンザは10月頃から患者が増加するのですが、今年は2ヵ月ほど早く流行することが予想されます。インフルエンザの予防接種は、10月から接種開始となる医療機関が多いので、10月になったらすぐに予防接種を打ち、感染を予防しましょう。



参考 URL: <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0710/news/page/news2026081301.html>

インフルエンザ予防接種は、予約制の医療機関が多いです。事前にホームページやお電話で確認してください。

インフルエンザ予防接種について

インフルエンザの予防には、予防接種を打つことが有効です。インフルエンザの予防接種は、現在2種類あります。

【不活化注射ワクチン(インフルエンザ HA ワクチン)】

インフルエンザウイルスを不活化(殺菌)した製剤です。

注射すると、主にウイルスの体内での増殖を抑える「全身免疫」が形成され、重症化の予防や症状の緩和に効果的です。

・**副反応**: 接種部位が痛んだり、腫れることがあります。ごくまれに、倦怠感が出たり、発熱することがあります。

※接種できない人・発熱中や、急性疾患に罹患中の人

・過去のワクチン接種でアナフィラキシーを起こしたことがある人

・卵アレルギーは微量成分のため、多くは接種できますが、重症の場合は医師と相談が必要です。

【経鼻生ワクチン(フルミスト)】

鼻腔に噴霧するタイプのワクチンで、2歳以上19歳未満の子どもや若者が対象です。痛くないので、注射が苦手な子どもにぴったりです。毒性を弱めた生きたインフルエンザウイルスを使用する「生ワクチン」で、ウイルスの侵入経路である鼻やのどの粘膜で自然感染と似た流れで免疫を作ることができ、効果が長続き(約1年)します。

・**副反応**: 弱毒化した生きたウイルスを鼻に噴霧するため、接種後2～8日頃に軽い風邪のような症状が出る場合があります。注射不活化ワクチンに比べ、副反応の出現が多いです。

※接種できない人・発熱中や、急性疾患に罹患中の人

・卵白や、その他のワクチン成分に対して重度のアレルギーやアナフィラキシーの既往がある人

・妊娠中の人 ・免疫不全がある人 ・重度の喘息患者

	注射不活化ワクチン (インフルエンザHAワクチン)	経鼻生ワクチン (フルミスト)
対象年齢	生後6ヶ月以上	2歳以上19歳未満
接種回数	生後6ヶ月以上13歳未満:2回 13歳以上:1回	1回
価格	(一般的に)3000～3500円/回	(一般的に)8000～10000円/回
メリット	長年の使用実績がある 副反応が局所の症状(注射部位の痛みや腫れなど)のみのことが多い 妊婦や、免疫不全状態でも安全に使用できる	痛みがない 接種回数が1回だけ 効果が1年続く
デメリット	注射のため、痛い 効果が5～6ヶ月程度と短い 13歳未満は2回接種が必要	副反応が多い(感冒症状や発熱) 妊婦、免疫不全の方は接種不可 喘息患者は接種不可 周囲の免疫不全状態の方に感染させるリスクあり
おすすめの人	注射が苦手ではない人 免疫不全の人、または周囲に免疫不全の人がいる人 妊娠中の人 喘息の人	注射が苦手な人 受験生などで、長期の予防効果を望む人 接種を1回で済ませたい人